

令和元年 11月7日(木)

～和歌山労働局長がベストプラクティス企業として、
太陽シールパック株式会社を訪問しました。～

「働き方改革」に積極的に取り組んでいるベストプラクティス企業として、和歌山労働局長が訪問したのは、和歌山市西浜に本社を置く「太陽シールパック株式会社(代表取締役：糟谷雅隆)」です。

同社は、日本初のファイバードラム(紙製のドラム缶)メーカーとして、国内シェア No.1を誇っています。一方で、製品の特性上、顧客の多様なニーズに可能な限り短い期間で応える必要があり、急な発注などによる時間外労働が発生しやすいことが課題となっていました。

同社では、これまで仕事の見える化、社員のスキルアップ支援や業務平準化など、工夫した取組を進めることで、時間外労働の削減、年次有給休暇の取得率アップを図ってきました。

訪問当日は、糟谷社長から取組内容の説明があり、局長との間で意見交換を行った後、社内コミュニケーション活性化のための「くじ引きアドレスオフィス」や社員の作業習熟度が一目で分かる「たまご ひよこ にわとり」の習熟度ランク表など、職場の視察を行いました。

さいごに、池田局長から、「『働き方改革』の工夫した取組は、他の企業にとって大変参考になるので、労働局として情報を広く発信していきたい。また、管内企業にとって励みにもなるので、これからも積極的に取組を進めていただきたい。」と伝え、視察を終了しました。



ベストプラクティス企業の取組

1 企業の概要

太陽シールパック株式会社

(和歌山県和歌山市西浜 1660-700 ☎073-448-4689)

事業内容 産業用包装資材・機材の製造・販売

従業員数 97名

URL <http://www.taiyosealpack.co.jp/>



2 取組の概要

(1) 時間外労働の削減・年次有給休暇等の取得促進

- ・ 「経営方針書」の作成・配付

全社員に配布し、会社の理念、経営方針や計画を共有。また、会議や研修の日程などの年間スケジュール、事前に申告のあった各社員の連続休暇の日程も記載しており、計画的な休暇取得と休暇中の業務フォローに役立っている。

- ・ 仕事の見える化、マニュアル化を推進

担当業務のローテーション・情報共有強化で仕事を見える化し、マニュアル整備を進めることで「特定の社員にしか分からない仕事、できない仕事」を削減。

- ・ 残業上限の目標値を設定

目標値達成のため、徹底的に作業改善や、人員配置・作業分担の効率化を推進。2015年8月からは20時以降の残業禁止とし、2017年8月からは19時30分以降の残業禁止を実施中。突発的な受注増に伴って発生していた休日出勤や遅い時間までの残業がなくなり、プライベートの計画が立てやすくなった。

- ・ 業務負担の平準化。全国5か所の製造拠点間で連携を強化して、広域の業務シェアをすすめ、業務負担の偏りを解消した。

(2) 独自の休暇制度等、育児・介護休業の取得状況等

- ・ 連続休暇奨励制度

今期(2019年9月~2020年8月)、試験実施中の制度。社内で取り決めた条件に合致する連続休暇を取得した場合、10,000円の奨励金を支給する。

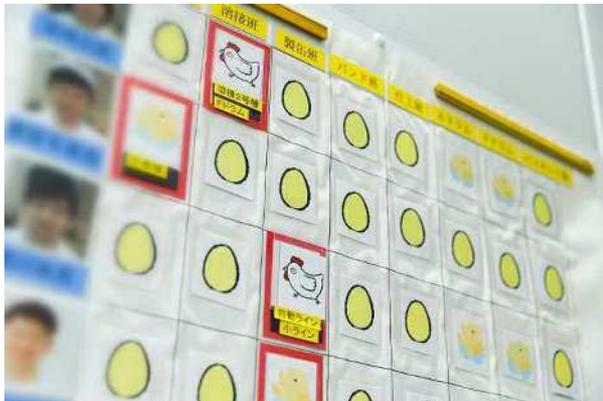
奨励金支給予定者数：91名

奨励金支給実績： 26名(2019年10月21日時点)

- ・ 直近3年間の育児休業取得実績：3名(2019年10月21日時点)

(3) 働きやすい環境づくりについて

- 各社員の担当可能作業と習熟度が一目で分かる表を掲示。習熟度のランクは、「たまご→ひよこ→にわとり」と馴染みやすい表現にして、楽しみながらスキルアップ支援やモチベーションアップに役立てている。
- 席を固定せず、毎日抽選で決定する「くじびきアドレスオフィス」を導入。部署を越えたコミュニケーション強化や、書類の属人化防止につながった。



「たまご→ひよこ→にわとり」
習熟度ランク表



社内オフィス風景

3 取組の成果

(1) 時間外労働時間（月平均・1人当たり）

22.6時間 → 20.2時間
（2014年8月決算期） （2019年8月決算期）

(2) 年次有給休暇の取得率

51.7% → 64.1%
（2016年4月～2017年3月） （2018年4月～2019年3月）